



4 F セミナールーム 4	4 F セミナールーム 5	4 F セミナールーム 6
5 NPO 法人 LOOB JAPAN わたしたちの声 ～現地フィリピンの 生活を直に感じて～	6 特定非営利活動法人 イランの障害者を支援する ミントの会 ミントの会の イランバリアフリーと ホームケア活動報告	7 国連 WFP ワークショップセミナー 「栄養」から考える飢饉
13 特定非営利活動法人 リンクトゥミャンマー 在日ミャンマー人の抱える問題と	14 特定非営利活動法人 ウォーターエイドジャパン	8 国際連合食糧農業機関 駐日連絡事務所 世界の食料農業事情と FAOの活動
		15 特定非営利活動法人 シニアボランティア経験者

プログラム 11:00~12:50 (計 110分)

☒NPO ミントの会の紹介【大澤 2名】(20分)

- ・ ミントの会の紹介 在イラン日本大使館から表彰、
- ・ 現地 NGO との連携、クリーンキャンペーン
- ・ 地元イラン (キャラジ市) での活動

私たちのビジョン
「世界中の誰でもが 自立した生活ができるように」

ミッション

- ☆福祉機器をイランへ届けます。
- ☆イランでピアカウンセリングや看護・リハビリ・バリアフリーの研修会を開催し、日本の知識や技術を伝え、交流します。
- ☆イランと日本の障害者の交流を回り、きずなを深めます。



● ホームケア(福祉省の活動)【土屋 2名】(20分)

- ・ ~2017年までの訪問リハビリ、病院でのセミナー、講演会



● バリアフリーまちづくり活動【寺島】(20分)

- ・ 2012~2017年のキャラジ市・シーラーズ市、アルダビール市での

・ 障害当事者との BF まちづくり WS



・ —— 休憩 (5分) ——

●子どもの障害理解学習(WS 体験)【福永・宮地】(30分)

- ・ 2014～2016 年度の取組み、ベヘジスティ、小学校、中学校、地域の親子、テヘランの NGO との WS など報告
- ・ 聴衆が参加して体験



● 意見交換・片付け (10～15分)

来場者 : 14名 中学生から、70代の方まで。

質問・感想 :

①イランという国がどういう国か、分からないままだったが、バリアフリーにこんなに力を入れていることが良く分かった。日本もバリアフリーがまだ都会でもたくさんあるから、イランのようにもっと盛んになると良いなと思いました。(中学生)

②みなさんが、イランに様々な支援に時間と力を注いで関わっていることが良く分かりましたが、どうしてイランなのでしょう？

③ミントの会でバリアフリー活動を始めた頃を知っています。まだ続けていたことにも驚きましたが、この数年で、ミント公園が作られたり、これまでの支援活動が目に見える形で結果が出ているこ

とが凄いと었습니다。

④街づくりに興味あり学んでいますが、バリアフリーに特化した街づくりは新しい視点でした。大変勉強になりました。

⑤下水道がないと聞きましたが、生活排水（トイレなど）はイランではどうしているんですか？

終わってから 振り返り

①最後の障害理解学習の発表が、時間が押し、予定していたことが全部できなかった。

②お客さんが参加しやすいように、プログラムのタイトルを工夫したり、入り口を入りやすくしてはどうだろうか？

その他

・開発メディアGanasのwriterの方が参加。本日の内容を記事にさせてもらいたい。

・25名収容できる部屋で、テーブルなく椅子だけだったので、時間の限られた中で行った障害理解学習のワークショップをお客さんに体験してもらう時、動きやすく良かった。